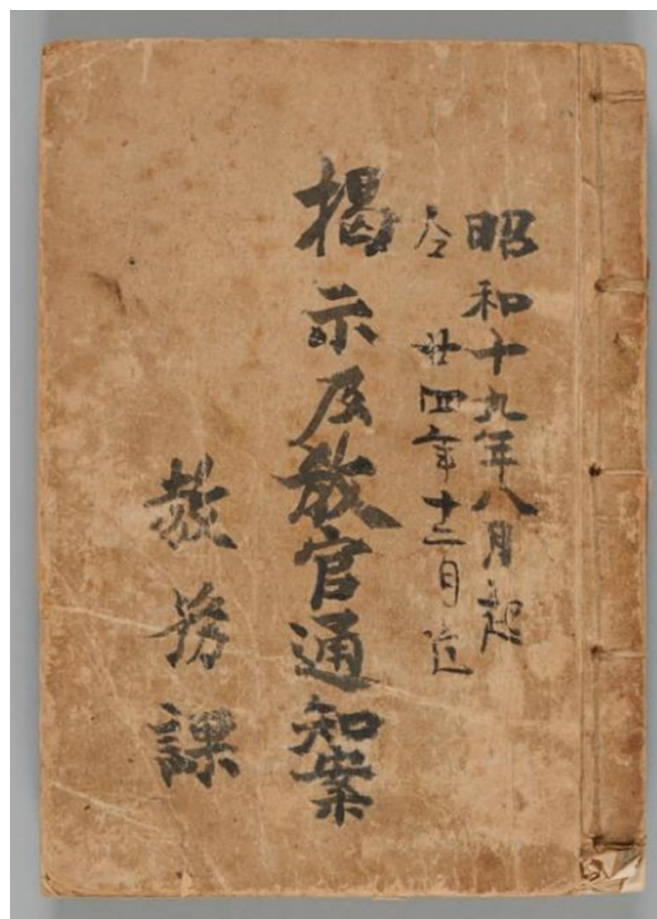


東京外国語大学文書館報

—Tokyo University of Foreign Studies Archives Newsletter—

Contents

資料紹介『掲示及教官通知案』	……………1 頁	東京外国語大学文書館日誌抄録	……………3 頁
公文書を用いた教材キットの開発	……………2 頁	企画展の案内ほか	……………3 頁



[写真]『昭和十九年八月起全廿四年十二月迄 掲示及教官通知案』(教務課)

1944(昭和 19)年 8 月 10 日から 1949(昭和 24)年 12 月 2 日までに作成された生徒控室および教官室における通知文案。学徒動員や空襲時の対応など、1944 年 8 月以降の戦時下における学生生活や、終戦を迎え、東京外事専門学校から新制大学の東京外国語大学へと移行するなか、学内に設置された「昇格準備委員会」などの会議日程が記載されています。

(資料番号:大学史口 7-1-15)

資料紹介『昭和十九年八月起全廿四年十二月迄 掲示及教官通知案』

倉方慶明(東京外国語大学文書館 研究員)

『昭和十九年八月起全廿四年十二月迄 掲示及教官通知案』(資料番号：大学史口 7-1-15。以下「掲示通知案」)は、1944(昭和 19)年 8 月 10 日から 1949(昭和 24)年 12 月 2 日にかけて、生徒控室あるいは教官室に掲示された生徒・教官への通知文案です。現在のようにウェブページや一斉メールがない当時、生徒控室や教官室における掲示は重要な連絡手段の一つでした。【写真 1】は竹平町校舎の時代(1944 年 5 月に西ヶ原校舎に移転)における生徒控室掲示の様子を映したもので、本資料が作成された時期のものではありませんが、控室の壁面に、所狭しと掲示が貼り出されている様子が確認できます。

掲示通知案をひも解くと、戦中・戦後の学生生活や学校の変化が分かります。以下、その内容の一部を紹介します。



【写真 1_竹平町生徒控室写真(「ABRE YVERAS TU JUVENTUD」(1940 年代アルバム)所収)】

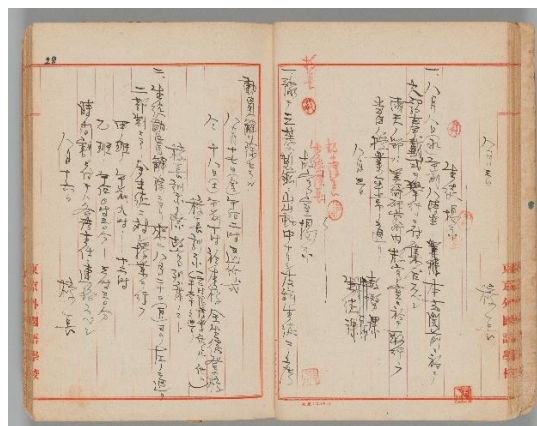
1. 戦時下の学生生活

日中戦争中の 1938(昭和 13)年に国家総動員法が公布されると、夏休みなどの長期休暇に学徒の勤労動員が開始されます。1944(昭和 19)年に「決戦非常措置要綱」が閣議決定されると、学生たちは学期中にも軍需工場に派遣されることになりました。

掲示通知案には、そうした勤労動員の期間やその間の授業対応などが記載されています。例えば、終戦直前の 1945(昭和 20)年 7 月には、第一学年の生徒は勤労動員として三菱製鋼の工場において勤務することになります。掲示通知案によると、7 月 4 日に入所式を挙行し、9 日からは生徒を「甲班」・「乙班」に分け、隔週交代で授業と勤労動員を実施したことが記載されています。加えて、教官に対しては「授業期間ハ約三ヶ月ノ予定ニツキ殊ニ語学授業ニ於テハ連成実用ヲ旨トセラレ度シ」と、語学教育の「速成実用」が求められました。

また 1944(昭和 19)年 11 月 18 日、東京外事専門学校では、来日していたインド独立運動の指導者チャンドラ・ボ

ースによる特別講演が挙行されました。その前日となる 17 日、教官室には「明十八日(土)午後二時自由印度仮政府主班ボース氏来校。講演アルベキニツキ御登校相成度」と、講演会への出席を求める掲示が貼り出されました。



【写真 2_終戦直後 1945(昭和 20)年 8 月 16 日の掲示】

2. 戦後の新制大学への昇格の議論と在学生

戦後、東京外事専門学校は新制大学への昇格を目指します。その議論の中心を担ったのは、1947(昭和 22)年に設置された「学校昇格準備委員会」でした。昇格に向けた議論はこの委員会に留まらず、教官会議においても審議が重ねられます。

掲示通知案では、委員会や教官会議の開催日程・議事が確認でき、新制大学への昇格に向けた学内の議論の大筋を追うことができます。また、1948(昭和 23)年 6 月 25 日の掲示では、「本校生徒は健全なる自主自立の精神に基き行動せられたい。昇格を前に学校の声価を高揚することを望む」と、昇格に向けた審議が進められるなか、生徒に学校の「声価」、つまり評判を高め、昇格に向けた機運を高めることを求めています。

また大学昇格に当たって、1949(昭和 24)年 3 月に進級できなかった東京外事専門学校の 1 年生は、大学昇格の際に引き続き第 1 学年に在籍できないことから、大学昇格を翌年に控えた 1948(昭和 23)年 9 月、「進級ができないと予想されるもの」に対して、同年 11 月に実施される「新制大学入学資格認定試験」を受けるよう掲示が出されています。大学昇格という「慶事」の裏側で、進級できなかった者にどのような救済措置を講じるか、という学校現場の実態を伝えています。

このように掲示通知案は、作成当時は、生徒や教官に対する事務連絡をまとめた綴でしたが、80 年近い年月を経て、他の資料には記録されていない、学校生活のあり方を伝えてくれる貴重な資料となっています。

地域の公文書を活用した中学校社会科公民教材キットの開発について

倉方慶明(東京外国語大学文書館 研究員)

大学文書館では、東京外国語大学が位置する府中市との連携事業や受託事業等を通じて、市区町村の公文書を含む地域の歴史資料の整理や利用促進を進めてきました。

連携事業等を通じて、地域の公文書が当該地域の歴史や文化、環境などを記録する貴重な情報資源でありながらも、十分に活用されていない現状を目の当たりにしてきました。そうした現状の背景には、公文書が人々にとって身近な「情報源」となっていないことがあるのではないかと考えました。小学校以来、何かを調べる際には辞書を引く、本を読む、そして現在ではウェブ検索をすることが当たり前になっています。そうした調べ学習の方法の一つに、「公文書を閲覧する」ということが当たり前になる、いわば「公文書を活用する文化」を育むことができれば、公文書・公文書館の利用・普及も広がるのではないかと考えています。

義務教育の段階から公文書に触れることで、一生涯にわたって公文書を使う習慣が身に付くのではないのでしょうか。

そこで、昨年度、連携事業を担ってきた筆者が中心となり、「2022年度笹川科学研究助成 実践研究部門」より助成金を得て、「地域の公文書を活用した中学校社会科公民教材キット開発のための実践的研究」を進め、成果物となる「地域の公文書を活用した中学校社会科公民教材キット」(教材キット)を開発しました。以下、その概要をご紹介します。

1. 教材キットの特徴について

教材キットは、公文書を用いた中学校社会科公民的分野の授業資料を作成するためのツールとなっています。そのなかには、使い方を記したマニュアルのほか、授業指導案、授業 PowerPoint 案、ワークシート案、教員・地方公共団体職員向け補助資料が含まれ、公文書を活用した授業資料で構成されています。

教材キットは、学習指導要領の改訂に伴い、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の実現が目指されていることを念頭に、地域の公文書を中学校社会科公民分野の授業等に活かすことを目的に作成しています。教材キットでは、生徒が公文書の読解・分析を通じて、地域の社会的な諸課題について「社会的な見方・考え方」を働かせて考察し、課題解決に向けた探究ができるよう、授業案や授業資料を提案しています。

また、使用者がキット内の公文書サンプルを各市区町村の公文書に差し替えることで、各地域のオリジナル教材が作成可能となっており、市区町村の公文書館あるいは

は公文書担当の自治体職員の方が、各地域向けの公文書を活用した授業案を作成するうえでの基礎資料としても活用いただけます。

開発に当たり、①多くの市区町村で活用可能な汎用性の高いキットとすること、②学習指導要領及び教科書と関連付け、授業案作成にすぐにつながるキットとすること、をコンセプトとしました。

そのため、本教材キットが扱う授業テーマには、あえて各地域の特色あふれる事象とせず、多くの市区町村に共通する社会的な課題を対象としています。現時点において、本教材キットでは表1の「防災」・「ごみ問題」・「交通」をテーマとする授業サンプルを提供しています。

表1_授業サンプルのテーマとねらい

授業タイトル	ねらい
①「ハザードマップ」を活用した防災計画を考えよう!	市区町村が作成・提供する「ハザードマップ」を通じて、生徒に自身の身近な危険を把握させるとともに、高齢者などの「避難行動要支援者」の避難計画を考えることを通じて、地域の防災計画を考察させることを目指す。
②ごみ袋の有料化にあたっては賛成? 反対?	ごみ袋の有料化という生徒にとって身近な社会的な課題について、公文書をはじめとする資料の読解と、賛成・反対に分かれた討論(ディベート)を通じて、理解を深めるとともに、地方自治に主体的に参加する意識を醸成することを目指す。
③「赤字」バスに補助金は必要ですか?	コミュニティバスの「赤字」路線に焦点を当て、公文書をはじめとする資料の読解により、利用状況を調べ、グループワークを通じて、市民のニーズに合った路線の改革案を議論し、自治体の支出の在り方を考察することを目指す。

2. 今後の活用計画と授業サンプルの提供

現段階では、授業実践による検証は完了していませんが、今後、実践的研究を通じてその課題を検証し、改良を進めていく予定です。

そのため、試行段階のサンプルではありますが、大学文書館ウェブサイト(URLは下記)において「地域の公文書を活用した中学校社会科公民教材キット」を提供しています。ご関心のある方はそちらをご参照ください。

地域の公文書を活用した中学校社会科公民教材キット URL
http://www.tufs.ac.jp/common/archives/local_cooperation.html

東京外国語大学文書館日誌抄録 (2022年4月1日～2023年3月31日)

4.1(金)	2022年度笹川科学研究助成「地域の公文書を活用した中学校社会科公民教材キット開発のための実践的研究」採択・開始	9.7(水)	法人文書地下倉庫追加分検討(研究協力課)、新規収蔵庫に関する報告提出(内閣府)
4.6(水)	蒲生資料群評価選別(5/17迄)	9.14(水)9.22(木)	連携事業打合せ(ふるさと府中歴史館)2022年度笹川科学研究助成中間報告提出、150周年史打合せ(出版会)
4.14(木)	出張(国立国会図書館、資料収集)(倉方研究員)	9.29(木)	法人文書ファイル溶解処分
4.15(金)	日新寮アーカイブズ追加寄贈	10.5(水)	授業「近代日本のなかの東京外国語大学」(対面・Zoom併用、全13回、1/12迄)
4.27(水)	蒲生資料群一部返送	10.13(木)	年史編纂用法人文書ファイル貸借、点検評価(中間報告)提出
5.2(月)	蒲生資料群低酸素処理	10.24(月)	年史編纂用法人文書ファイル貸借
5.6(金)	法人文書(入試課追加分)・日新寮アーカイブズ低酸素処理	10.25(火)	年史編纂用法人文書ファイル貸借
5.10(火)	蒲生資料群一部返送	10.27(木)	150周年記念事業委員会
5.12(木)	企画展「学内競漕大会の歴史」(8/29迄)、	10.28(金)	大学文書館所蔵資料検索システム打合せ
5.17(火)	蒲生資料群一部返送	11.9(火)	150周年記念事業委員会
5.18(水)	法人文書(各課地下倉庫追加分)整備(5/25迄)	11.18(金)	二学部化聞き取り調査(亀山郁夫元学長)
5.26(木)	150周年史打合せ(出版会)	11.22(火)	連携事業打合せ(ふるさと府中歴史館)
6.2(木)	大学文書館所蔵資料検索システム打合せ	11.30(水)	企画展「東京外国語大学「二学部化」の歴史～「言語文化学部」と「国際社会学部」への学部改編～」(1/30迄)
6.9(木)	公文書館長会議(倉方研究員、6/10迄)	12.22(木)	施設見学対応(他大学2名)
6.17(金)	入試課より募集要項を貸借・複製物を作成	1.19(木)	連携事業打合せ(ふるさと府中歴史館)
6.21(火)	「令和3年度法人文書の管理の状況調査に基づく「法人文書ファイル管理簿」等の提出について(依頼)」及び「法人文書ファイルの回収のお願い」通知(総務企画課)	1.27(金)	ふるさと府中歴史館より資料貸借、企画展「大学文書館10周年」(5/26迄)
6.30(木)	ニューズレター(第6号)刊行	1.30(月)	文書館10周年聞き取り調査(立石博高元学長)
7.1(金)	大学文書館所蔵資料検索システム打合せ	2.9(木)	施設見学対応(一般1名)
7.11(月)	法人文書ファイルの回収(8/2迄)	2.14(火)	2022年度笹川科学研究助成最終報告提出
7.14(木)	出張(国立国会図書館、資料収集)(倉方研究員)	3.13(月)	点検評価(期末報告)提出
7.20(水)	法人文書回収打合せ(人事労務課)	3.16(木)	特定歴史公文書等目録(2021年度)の公開、文書館打合せ(法人文書管理研修ウェブ教材承認)
7.25(月)	法人文書地下倉庫追加分検討(研究協力課)	3.22(水)	総合戦略会議(施設の有効活用について、本郷サテライトへの収蔵庫移転決定)
7.27(水)	建学150周年記念事業委員会		
7.28(木)	移管廃棄検討案調整。各課・室との評価選別結果の協議(8/18迄)		
8.3(水)	移管廃棄検討案調整		
8.15(月)	移管対象法人文書ファイル低酸素処理開始		
8.26(金)	法人文書ファイル移管最終案確定		
8.29(月)	企画展「東京外国語大学と入試制度の変遷」(11/18迄)		

150周年史編纂事業に伴う資料寄贈のお願い

大学文書館では年史編纂に向け、関係資料群の収集と聞き取り調査を進めています。卒業生・退官教員の方々のお手元に下記の資料がございましたら、ご寄贈と聞き取り調査へのご協力をお願い申し上げます。

- (1)昭和20年以前の東京外国語学校・東京外事専門学校関係資料
- (2)部・サークル活動関係資料
- (3)教科書・ノート・レジュメなど授業関係資料
- (4)学園紛争関係資料
- (5)西ヶ原キャンパス関係資料
- (6)写真・映像
- (7)その他

2023年度企画展開催予定

本年度の企画展の開催予定は次の通りです。

- ◆開催期間
 - 4月～8月 学内競漕大会の歴史
 - 8月～10月 所蔵資料紹介
 - 10月～1月 東京外国語大学150年のあゆみ(仮)
 - 1月～3月 所蔵資料紹介
- ◆開催場所：附属図書館1階ギャラリー
 - ※開催時間は附属図書館の開館時間に準拠します。

また大学文書館ウェブページでは現在ウェブページのリニューアルを進めており、過去に開催した企画展の内容を「ウェブ展」を通じて発信していきます。

東京外国語大学文書館報 第7号 2023年7月31日発行

編集・発行 東京外国語大学文書館

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 TEL 042-330-5842

E-mail tufsarchives@tufs.ac.jp

URL <http://www.tufs.ac.jp/common/archives/index.html>